

2020年10月1日

各位

株式会社レコフデータ
代表取締役社長 吉富優子
取締役営業部長 池ヶ谷博章

M&A マッチングプラットフォーム

MARR MATCHING (マールマッチング) 開設のお知らせ

株式会社レコフデータは、M&A マッチングプラットフォーム「MARR MATCHING (マールマッチング)」(<https://www.marr-match.jp>) を2020年10月1日に開設いたします。

レコフデータは、1985年以降の日本企業のM&Aデータベースを構築しています。このデータベースを日本のM&A普及のための共有財産にすべきとの考えから、1995年1月、日本で唯一のM&A専門月刊誌「MARR(マール)」を創刊しました。創刊から26年。今日では、日本企業のM&Aデータ約8万件を収録する検索サービス「レコフM&Aデータベース」とともに、企業の経営者、ビジネスとしてM&Aに携わる方々、大学・調査機関でM&Aを調査・研究する方々や政策担当者の必携品となっています。

また、2019年には、内閣府のM&A研究会が2005年に提唱し、設置した「M&Aフォーラム」の事務局事業を譲り受け、M&Aに従事する人材の育成や市場の健全な発展に資することをテーマに「M&A人材育成塾」、「M&Aフォーラム賞」などの活動を行っています。

日本企業のM&A件数は、2019年に4088件と初めて4000件を超え、過去最多を記録しました。昨今のコーポレートガバナンス改革などを背景に日本企業の構造改革への圧力は強く、国内では事業ポートフォリオ組み替えの買収、売却が進展し、海外へ成長を求めるM&Aやイノベーション創出に向けたベンチャー投資も活発化しています。加えて、後継者問題を抱える中小企業では事業承継の手法としてM&Aが有効活用されるようになりました。これに伴いM&A市場が拡大し、当事者は上場企業から未上場企業へ、大企業から中堅・中小企業へと広がっています。経済産業省・中小企業庁は2019年12月、M&Aで10年間・60万者の第三者承継を目指し、「第三者承継支援総合パッケージ」を発表しました。これは、従来の親族内承継や従業員への承継から「第三者承継(M&A)」に軸を移した画期的な政策転換といえます。

そこで、レコフデータは、「MARR」における公共性・中立性、信頼性のもと、M&A市場における役割の一つとして、これまで培ってきた様々なネットワーク、グループのノウハウを生かして中小企業の事業承継支援を行うべく、「M&A マッチングプラットフォーム」の運営を開始することにいたしました。

このような時期にプラットフォームの運営を開始することの意義は大きいと自負し、事業承継支援、その後の成長発展にいささかなりともお役に立つことを切に願うとともに、今後とも信頼性の高いデータベースの構築、記事の発信、人材教育等に邁進していく所存です。まずは略儀ながらお知らせ申し上げます。

【本件に関するお問い合わせ先】株式会社レコフデータ 営業部
E-mail : press@marr-match.jp
担当：池ヶ谷、酒井